

旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部
会員向けニューズレター
発行人 古川 彰久
事務局 〒252-0321 神奈川県
相模原市南区相模台1-23-9
Tel.&Fax.
042-748-8240
<http://www.jouhan.com>
E-mail:info@iki2life.com

12月例会ご案内

日時 : 12月9日 木曜日
18:30 ~ 20:30
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000円
テーマ : 城野先生の「情況判断の行動学」の
第四章(3) 経済発展の戦略的評価と
(4) 日本経済と高度成長より
演者 : 松本 友

第四章全体のテーマは「ケーススタディとしての偉大な日本経済」です。この偉大な日本経済というのは、1979年時点でまとめられているのでいわゆる高度経済成長時代のものになります。現在はすっかり、様変わりしている中で何を讀み取れるかを考えていきたいと思ひます。

経済とは人間の実生活であつて数字ではない。食つて、着て、住んで、しかも健康に生きていくための物質条件の整備である。という内容がありました。これは今に生きる我々にとって、ちょっと新鮮です。安心して生きられる時代に生まれた我々にとっては「経済」という言葉の持つ意味はこの時代と全然違ふように思ひます。

それもそのはず、明治から昭和のはじめの日本の平均寿命は短かつた。戦前はなんと43歳。明治なんて30歳です。もう自分は死ぬ年齢だつたなんて驚きです。戦後20年で寿命を30年ものばしたとは。正直、43歳の平均寿命なんて、今どきどの国でもないでしょう。こんな時代においては、経済とは確かに食つて、着て、住んで、しかも健康に生きていくための物質条件の整備だつたはずです。つまり、日本の行動成長は単にGNPが高くなつただけではなく、公害防止、福祉厚生、衛生環境、薬剤、医療技術、医療機器、教育、その総合成果だつたわけですから。では現在の経済とは何を目的としているのか。この時代の城野さんの言葉から学べるものはなにか。豊かになつた今でも基本は変わらないはずですが、今における経済とは何なのか、これはぜひ

考へてみたいテーマです。単純に数字の比較をしては見えないことがある、というのは今の我々が学ぶべき視点だとも思ひました。

日本はどんな手を使つて経済成長を成し遂げたのでしょうか。それは、国からしたら国民を信頼することだつたと。ごくシンプルで明確な道理の中から実現したというのです。毎日仕事に精を出し、約束を守り、期日にちゃんとお金を払い、信号が赤なら止まる。統一ができていた国民だつたからこそ実現したと。無資源、無外資の中、2本の腕だけで築上げたわけですから。自由に活動できた土台は階級差別の消滅と教育の普及でした。ヨーロッパのように上流階級だけが潤うのではなく、みんなが教育を受けられるようにした。これはとても良い政策だつたのでしょうか。毛沢東やスターリンのような偉大な指導者がいなかったのも逆に良かったとも言えます。だからこそ、我々もみんな教育を受ける権利を持ち、学ぶ習慣を身につけ、いくつになつても学ぶことをやめていない、とも言えます。

また、意見が違つても逮捕されないという安心感も大きいとのこと。これは今に生きる我々にはあまりピンと来ない考へでした。好きなことを好きなように基本的に発信できる時代に生きていくと、人からの反応が気になるとか世間体とかはあつたとしても逮捕されて投獄されても出てこれない、というような恐れは全くないと言つても良い。こういう日本にしてもらつたことは、心から感謝すべきことだと思ひます。

この時代の日本人、また城野さんから学べることはいったい何なのか。心に残つたのは、原因と条件を混同しないこと。また、140億の脳細胞の組み合わせであらゆる活動計画を組み、脳の司令で行動する、この基本はどんな制度や組織を作り、運営し、発展させるための基本であること。国を批判するよりも自分はどうするのか。日本のため、世界のためにどうすればよいのか、大きな視点で考へてみたいと思ひます。

10月例会報告

日時 : 10月14日 木曜日
18:00 ~ 20:00
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000円
テーマ : 城野先生の「状況判断の行動学」の
第三章(8)修正・反復・継続と(9)
目的達成後の保持より
演者 : 神前 直哉

8 修正・反復・継続

(1) 難関にあっても、あきらめな
戦術の実行は一步一步つづけて前進すること
であり、途中でやめてはいけない。失敗だとい
うのなら、戦略方向が間違っていたわけだから、
その方向を転換する必要があるが、途中の難関
とは失敗ではなく作業上の効率の高低にすぎぬ
のだから、行く先そのものを転換する必要はな
い。戦術の実行は途中でやめないということ
を必須条件とする。途中でやめるのは、戦略を棄
てることなのである。

(2) 成功と失敗のエネルギー量
AとBと二つの事物のうち、Aの方がBの方
よりも難しいと思えることは通常現象である。
その難しいというのは、距離が長い、新条件の
出現が多いという分量だけのことである。ア
フリカに行く方が玄関ロビーまでタバコを
買いに行くことより難しいと思うのも、単に
距離の長さからくる未知への不安にすぎぬ。
分量が多いから、時間が長くかかるとはい
えなくても、易しいと感じるものに比べて、
別にちがったことをするわけではない。実
行をやめずにつづけておれば、結局、目的
地についてしまう。難しいからストップす
るといふ理由は、何一つ見つからなくなる
だろう。大きな問題でも、戦術として実
際にやっていくのは一步一步である。それ
を、止めないで目的達成までずつつづけて
いけば、結局は目的に行きつく。脳の作用
は、ストップをかけぬというだけのことで
この成功を可能にする。戦術の実行は目
的達成まで止めないということ
でなければならない。

9 目的達成後の保持

(1) 成功は成功を保持することにある
目的が達成されたら、これを成功という。し
かし、その達成された状態、成功の成果が
つづいて保持できなければ、成功した意味
はない。敵陣に突入して占領したら、要所
に兵隊を整備し、

大砲をすえ、指揮部は壕の中にもぐり、ど
んな反撃にも、びくともせぬ配置をとど
めておかねばならぬ。世の中のことは、
万事これと同じである。小さな会社を
大きくし黒字にした、これで安心と
気をゆるし、ムダ使い、自惚れ、放
漫経営となると、忽ち倒産となる。
成功の保持という観念がなかったから
である。戦術実行によって、戦略目
標を達成したら、その成功の成果を、
これ以上に気をくばって保持して
いくという心掛けがなければ、その
上に、さらに新しい成功をつみかさ
ねていくことはできない。

(2) 実績を重ね、事態に対処せよ

これまで、脳の使い方のプロセスを示
した。これを暗記してしまうことはた
やすくできる。しかし、暗誦できる
だけでは、自分の行動となって事
を処することはできない。脳中枢
から、身体各部への行動指令が
出るようにするには、暗記した
法則基準を、実際行動に適用
して、何度でもやってみること
である。行動した結果として、
うまく処理した、成功したとい
う実績、うまく処理できなかった、
失敗したという実績を点検し、
どこに、どう通用したからう
まくいき、成功したか、或いは
うまくいかず、失敗したかの
原因を究明し、その次の行動
の参考にする。これを繰り返
していくと、脳細胞のシナプ
ス形成が、次第に再編成され
ていき、どんな事態にも、立
派に対応できるようになって
くる。このように、一人一人
が変化をとげ、発展し、世
の中を明るくし、もっとも
っと素晴らしい生活と人生を、
つくり出していきように
したいと思う。能力開発とは、
人生観の転換であり、無限
の可能性の創出であり、人
類生活と、人生を、更に豊
かにしていくためのもの
である。

参加者の意見交換等

1. 修正・反復・継続

(1) 難関にあっても、あきらめな

前節までの内容のまとめであり、戦術
の実行は一步一步つづけて前進する
ことで決して途中でやめてはいけ
ないという考え方について、あ
らためて確認できた。

(2) 成功と失敗のエネルギー量

アフリカに行く方が玄関ロビー
までタバコを買いに行くことより
難しいという比喻について、
距離という条件は行動しない理
由にはならず失敗の原因では
ない。失敗は距離を原因と捉
えてしまい歩みを止めてしま
うことである。実行をやめず
に続けていけば、目的地に
辿り着く。難しいからやめる
という理由は何一つ見つから
なくなるという考え方につ
いて、前節の内容を踏

まえてあらためて確認ができた。

2. 目的達成後の保持

(1) 成功は成功を保持することにある
成功の保持については、心掛けることが重要であるが、やはり難しいことである。例えばSONYのように創業よりイノベーションを起こし世界に通用する企業となったが、そのご業績気が減衰してしまった。他にもHONDAや松下電器など同様の事例も存在する。ここで、あらためて成功を保持することの重要性を確認できた。

(2) 実績を重ね、事態に対処せよ
第三章のまとめであり、これまでに学んだことを暗記するのではなく実際に行動することにより自らの力とすることが出来ることを確認した。次回からは、これまでに学んだことのケーススタディとして第四章の日本経済の問題について脳力開発的解明の学習を行っていくという方針が決まった。

